

# 小柳司氣太・日記（二）

## 『思くさ』

### 凡例

- 1、原本はB6判の大学ノート（13×20cm）に墨書で横書きに書いてあるので、そのままの体裁を取った。新聞などからの抜粋記事を鉛筆で書き記しているが、あえてその表示はしなかった。
- 2、漢字は原本通りとした。但し、「戸」は（帰）に当てた。
- 3、仮名はほとんどカタカナであるが、変体仮名は平仮名に直した。また、造字の「はコト」、𠂔はトモ、𠂔はトキにした。「耳」「子」をカタカナとして使用している場合は「ニ」「ネ」とした。
- 4、外国語はそのまま示した。
- 5、明らかな誤字は〈 〉をもって訂正した。
- 6、解読不能の文字は、推測可能な文字を宛て、尚不能な場合は文字数を□で示した。
- 7、改行は」をもって示した。
- 8、二行ワリの改行は／をもって示した。
- 9、読みやすくするため適宜句点、のみ付した。
- 10、[ ] は編者の補注である。
- 11、編集の都合上、各ページの冒頭に [1頁] の様に示した。
- 12、全体を通して英語の部分は、米国イリノイ大学のDr.Ronald.p.Tobyの御教示をいただいた。

（浅見 恵）

廿五日

早川氏ニ往キ Grimm's Fairy [Tales]  
ヲ」借ル、同席ニ平松氏ニ面ス  
熊倉氏来訪シ、ウキルテル氏萬国史」  
ヲ質問ス  
陸奥宗光及西郷菊次郎ノ両氏ト」今日  
帰朝セリ  
亀井戸天神ノ（ウソ替）ナリ」全国真  
言宗寺院ハ其總數一万四千」

[33頁]

七百廿五寺ニシテ、内住職ナキ者六千  
六百」六ヶ寺ナリト

廿六日

諸廢物ヲ撰取シ、之ヲ屑屋ニ賣」ル  
霜鳥ニ氏ニ至タル、然レドモ不遇、路  
ヲ轉ジ」テ佐藤良氏ニ至タリ 日本人

[雑誌] 等ヲ借ル

京都府下葛野郡太秦村真言宗廣隆」時  
（寺）中ニ在ル桂宮院ハ、其建坪五坪三  
分」五厘ニシテ、今ヨリ千二百八十年  
前推古天皇」十二年、聖徳太子憲法ヲ  
制定セシ年ノ秋」建築セシ者ナリト

廿七日

熊倉氏来訪ス

廿八日

風邪ノ氣味あり

廿九日

張弛館ニ行キ懸賞詩ヲ寄ス

月末試験執行セラル

山崎元脩氏ノ家ニ行ク

[34頁]

三十日

風、晴

孝明天皇祭ニ付キ休業ス

露西亞皇帝ハ毒ニ中テラレ目下就臥」  
中ノ由ナリ

皇女御誕生ナサレタリ (廿九日)

(ブラジル) 假政府ノ大統領 (フラン」  
セカ) 將軍ノ同胞タル (シメスタフラン」  
ンセカ)」氏ハバ里ニ於テ革命ノ源 (原)  
因ヲ述ベ」第一皇太女カ共和党 (アウ  
ロブリエト) 内」閣ノ改正ヲ執行シ、  
(ユー) 伯ナル人ノ物」利ヲ助スケ、黒  
人種ヲ兵籍ニ編入シテ」地主ノ怨ヲ招  
ネキタル等ヲ列擧シタリ、葡萄アルガ  
ーブ国皇帝カーロス第」一世ハ、旧臘  
二十八日即位式執行セラレ、且ツ」觀  
兵式モアル筈ナレド、兵士中共和政ニ」  
傾ムキタル形跡アリテ、之ヲ行ハザリ  
シトゾ」書シ了ハリ、各国帝室ノ運命  
ノ泰否ヲ見テ轉凄然タリ  
霜鳥ニ并ニ熊倉操ノ二氏ヲ訪問シタ」  
レドモ、皆ナ不在ナリキ

[35頁]

三十一日

白昼羽陽館客室に盜賊入り、下婢」の  
初覺する所となりて逃走したり、然」  
れとも途にて縛せられたり、一時」騒  
然たり

試験後にて學校休業す

余初しめ豊太閤を以て一の魁々」たる  
武夫となしたりしが、此頃史學」會雜  
誌ヲ緋どき、公ノ詠歌を見て」其妄な  
るを知れり、英雄の胸中綽」々として  
餘裕あるを知るべし、此」外同誌に石  
田三成、平将門等ノ事」跡に関し新説  
を見たり、近世歴史」の校査精密を加  
はへ、昔日人の」嫉悪したる人物も、  
今は左程の」悪奸にあらざるに筆録せ  
られたる」者往々是れあり、此に付き  
謹しむべ」きハ、史家の筆なり、一章  
一句苟くすべ」からず、須らく記すべ  
し、蓬窓燈花」の下、無数の靈鬼、其  
筆端を圍繞す」るを

[36頁]

今月拾遺

七日鳩山外務局長ハ非職

三日板垣伯ハ新タニ組織シタル愛國」  
公党ノ主旨ヲ公ニス

独逸国太皇太后崩御 (アウグスタ)」  
(ロバートブラウニング) 氏逝ク」墮帝  
ハ (インスクープ) ニ於テ独帝ト會  
合シタリ

昨廿二年末現在、全国牛馬ノ總數ハ」  
牛百一萬千三百三十八頭ニシテ、前年ヨ  
リ」減ズルコト九千三百二十六頭、馬  
百五十」三萬二千七百九十九頭ニシテ、  
前年ヨリ」現 (減) ズルコト四千八百  
七頭ナリ、牧畜ノ」業忽視スベカラズ

[37頁]

二月

一日 晴

國民新聞江湖新聞第一号ヲ發」行ス

小林氏ヲ訪問ス

國民英學會訳読科壹級後期」ニ入ル  
小試験成績報告セラレ、余九十點」ヲ  
得、優部ニ入レリ

此夕、熊倉氏來ル

二日

佐藤良氏來訪シ、共ニ上野ニ遊ソブ」  
梅花三四分笑ヲ呈シ、博覽會場」ノ準  
備汲々タリ、其幽棲ナル処ニ至」リテ  
ハ、古松老杉鬱々葱々人ヲシ」テ仰カ  
シメ、亦夕京塵逼隘ノ氣ナシ

三日

早川平氏來訪ス

此日學者ノ責任論ヲ草ス

[38頁]

四日

勅令第七号ヲ以テ、室蘭港ヲ第五海」  
軍区鎮守府ノ位置トナス

五日

高知県ニ於テ、自由派ト國民派ノ軋轢」  
太甚シク、自由派ノ一人杉山清太郎遂  
ニ」刺殺セラレタリ、嗚呼朋黨ノ私争  
タル」ヤ恐ソルベシ、然レドモ是レ昔

人ノ將ニ是非」共經過セザルベカラザル関所ナリ、早ヤク」踏破リテ推シ通ルベシ、立憲自由ハ貴」物ナリ、是ヲ得ント欲スル者豈ニ容易ナラ」ンヤ  
西班牙国王（アルフォンゾ）十三世病疹エ」共和党ノ勢焰大ニ減数セラレタリ」且同内閣ハ（サガスター）氏ヲ以テ總理」セラレタリ

六日

此世ニハ無礼ノ事ヲ為シテモ、夫レガ習慣ト」ナレバ靦トシテ耻ヂザル者アリ、慎独ハ」君子ニアラズンバ能ハズト雖モ、責メテハ衆人」ノ前ニ於テ己レヲ持ゼサルベカラズ、朋友

[39頁]

問ト雖モ、無礼ノ事ハ決シテ為スベカラズ」礼ナキハ是レ禽獸ナリ、小無礼積重」シテ大無礼トナル者ナリ

Dreamlandヲ草ス、余此ニ費ヤスコト」三夜、稍文章ヲ成スニ至ルト雖モ、之ヲ改」脩点竄スレバ、又幾時ヲ費スヤハ知ルベ」カラズ、夫レ文ハ猶ホ玉ノ如トシ、玉磨」所ヲ加フヘバ益美ナリ、文添削ヲ経」レバ、愈雅ナリ、古人一言一句ヲ以テスラ」畢生ノ心胸ヲ鍊ル者アリ、故ニ其文出」ヅルヤ鬼哭シテ神泣ク可怪、近世我」国ノ著作者年ニ出版スルコト少ナキモ」四五種ニ下ダラズ、何ゾ其才思ノ」運用ノ迅速ナルヤ、此故ニ其規模大」率少ニシテ、恰カモ假山水ニ遊ブカ」如トシ、其或ハ目ヲ悦コバズベキ者」アリト雖モ、此其皮相ノミ深山幽谷」離潜虎藏ノ処ニ至リテハ、未マダ」能ク之ヲ闡揚スルコト能ハザル也

一記録ト雖モ苟クモ名作ナレバ、以テ」己ノ名ヲ後世ニ傳フルニ足ル、豈ニ」勿々皇々筆ヲ私ニスル及バンヤ  
余常ニ思ラク、萬事吹込ムガ第一ト

[40頁]

近日往々軍人ニシテ手袋ヲ着ケ、或ハ」眼鏡ヲ懸ケル者アリ、甚ハダ怪シム」

ベク且ツ嘆スベキ也、而シテ其長官」タル者果タシテ之ヲ知ラザル乎

官立學校或ハ特別認可學校入」學試験ニ於テ、往々代人ヲ仕用」スルノ風流行スト

古人曰ハク、文人錢ヲ受マズ、武臣死」ヲ惜マズンバ天下治マラント、上ノ二」事ニ就キテ轉悽然タリ

全国代言人總數ハ千七十五人ナリ（昨」年書日調査）

魯帝ノ病氣大漸、人心恟々タリ

七日

風甚ダシ

八日

風猶ホ止マズ、鶯々窓ヲ動カシ塵ヲ飛」ハズ、其襲撃アラコトヲ畏ソレ、八」番室ニ」至リテ伏臥ス、後雨鬼六出生」生尋」至タル

[41頁]

此夕Catherine Flemingヲ讀ミ」其境遇ヲ己レノ身ニ比較シテ、一倍ノ感」アルヲ覺ボユ、所謂ユル（ミルトン）詩ニ」アラザレドモ、作者ノ心ト読者ノ心ト相働ラキ、相感染スルニアラザレバ」文ノ真味ハ分カラザル者也

九日

早川氏ヨリ書状來タリ、四時頃來ル旨」約束」セラレタリ、依テ待ツコト七時」至タリ、猶ホ來ラ」ズ、止ムヲ得ズ書状ヲ友人ニ託シテ外出」シ、霜鳥二氏ニ至タリ、座中同郡医学士若林」某外一氏ニ面ス、（トランプ）ヲ闢ハスコト六七」番、菓子ヲ食シ珈琲ヲ飲ミ親談、九時」頃帰宅ス、即ハチ早川氏ノ來リシヤ否ヤヲ」問ヒシニ來ラズト答タフ、嗚呼人ト約」シテ來タラザル、何ゾ太甚シキ

地震ノ時桑原ト唱フルハ、往昔雷神落」下セシトキ、桑ノ木ノ間ニ其身体ヲ夾持セラレ」大ニ苦ミシト云フコトヨリ起コリシ者ナリト

[42頁]

十日

此日本科乙組ヨリ轉ジテ丙組ニ入ル  
 (マキアバリー) 論 (ジーザー) 演劇  
 ノ講」義ヲ聽ク、(クリスマス、カロール)  
 ハ各書肆」既ニ賣尽シタルヲ以テ、止  
 ムヲ得ズ出席」セズ  
 熊谷氏ヨリ書状来ル  
 本郷区役所ヨリ徴兵事件ニ付キ召」喚  
 状来タル  
 早川氏来ルト雖モ、余未マダ販宅セ」  
 ザルヲ以テ飯リタリ  
 鈴木時君ヨリ令弟虎雄君ノ九日」ニ来  
 京セルヲ傳聞セリ  
 神戸ニティンフルエンザニ罹カル日本  
 人」三十余名モ傳染セリ  
 裁判所構成法等發布セラル

十一日

憲法發布ノ紀念日且ツ紀元節ナル」ヲ  
 以テ市中大ニ繁華、各社新聞皆繪画ヲ  
 附録トシテ配布ス  
 朝来ヨリ雪大ニ降ダル、昨年今日モ」  
 亦此ノ如トシ、蓋タシ天人ノ相應ズ

[43頁]

ル也

熊倉氏ヲ訪問ス  
 金鷄勲章授與ノ詔勅ヲ發布ス  
 雪積モルコト五寸許  
 豚ヲ煮ル

十二日

徴兵事件ニ関シテ區役所ニ往ク  
 平松、早川平氏ヲ訪問ス  
 霜鳥二氏来訪ス  
 鈴木先生令息虎雄君ニ書ヲ託シテ我ニ  
 示」メス  
 熊谷氏へ書ヲ発ス  
 露国政府ハ鉄道費トシテ二千万磅ノ」  
 公債ヲ募集ス  
 里斯本府下等人民ハ英国ニ對シテ示」  
 威運動ヲナシ、國會ハ解散セラレタリ

十三日

徴兵事件ニ付、區役所へ往ク  
 朝鮮京城ノ商人等清商ノ貪亂、己レ」

ノ業ヲ奪バフヲ以テ、外務督辦ニ迫マ  
 リ」立退ヲ乞ヒ頗ル不穩ナリ、是レ蓋  
 ダシー」二有力ノ人物其後ヲシテ為ス  
 ヤノ

[44頁]

風説アリ、且ツ恐ソルベキ負商裸商ノ」  
 類モ韓商ニ加担スル由  
 山崎氏ヲ訪問ス (小吉村役場ヨリ徴兵  
 事件ニ付キ書来タル)

十四日

水道條例ヲ發布ス  
 徴兵事件ニ付キ區役所へ往ク  
 新衣ヲ着ス  
 地方官會議開會  
 早川平氏来訪ス

十五日

Macaulay's Essay on Hallam's Consti-  
 tutional History of England,開講

十六日

国民英學會第二周年紀念」會ヲ神田和  
 泉町壺番地中村亭」ニ於テ開ラク、時  
 ニ午後一時半也」第一ニ幹事磯辺氏開  
 會ノ旨意」ヲ陳ベ、第二教頭イースト  
 レーキ氏」祝辭ヲ陳ベ、第三懸賞英文  
 並ニ」和漢 詩歌 俳諧 川柳ノ当撰」  
 シタル者ヲ朗読ス、余詩一等賞

[45頁]

トシテVivian Gray一冊ヲ得」タリ、第  
 四茶果蜜柑ノ饗応アリ、第五」狂言遊  
 戯アリ、第六福引アリ、余宇」治川ノ  
 二番手ニテ、唐墨一疋否ナ」一本ヲ得  
 タリ、第七大日本皇帝並ニ」大日本帝  
 国萬歳ノ声ヲ擧グルコト三」タビ、国  
 民英學會萬歳ノ声ヲ擧」グルコト三  
 タビニシテ散會ス、時ニ自」鳴鐘五時ヲ  
 報ズ、此日細雨」霖々タリト雖モ、會  
 スル者尚ホ百」五十余有人ナリ  
 佐藤良氏ヲ訪問ス  
 福引ノ内、余ノ記憶シタル者ヲ掲ゲ」  
 テ間日ノ一笑ヲ博ス

老人ノ思案 徳利  
 罪人ノ尤モ恐ルベキ者 四桂 (将基)

武田信玄ノ嫡子 貝杓子  
 美人自天上落 婦人ノ圖  
 当世新聞ノ大流行 ふ (食フ者)  
 六  
 {願為輕羅纏細腰 鏡  
 {願為明鏡分婦面  
 料理屋ノ給仕 マツチ十  
 吾人ノ今年尤モ企望 スル者 黒貝

[46頁]

破ブレ三味線 ペン  
 臍間秋水鉄可断 羊羹  
 日本ノ名花 櫻炭  
 萬国旅行者 封筒  
 徳川將軍ノ一人 cake  
 前ハ東海道今ハ木曾 足袋  
 小女為送花一枝 梅花  
 銅山ノ名産 コッパ (木ノ)  
 聖人 五トク (火  
 中ニ居ク者)  
 東京ノ真中 二本箸  
 書生ノ會計 大根菜ノ  
 国民英學會ノ末路 末廣  
 Steamboat 上喜撰  
 ワット氏智囊ノ親類 土瓶  
 武士ノ遺物 日本 (新聞)  
 独逸ノ都 鈴 (bell)リン  
 出雲ノ大社 紙屑ノカゴ  
 三種ノ宝器 三種ノ箒  
 其方国アルニ依テ ホーロク  
 (物ヲ煎ル者)  
 寒中ニ單物一枚 箕篩  
 互ニ夫婦ノ契を ムスビ (飯)  
 大蔵大臣ノ政略 石ケン (シ  
 ャボン)

[47頁]

昨二十年中府下郵便局取扱ノ書簡」ハ、  
 總數四千七百〇八万七千九百三」十六  
 個ナリト

十七日 雨

熊倉氏來訪ス  
 米價益騰貴シテ細民益困ルシ」ム、或

ハ云フ、米價ノ騰貴ハ井上馨氏之」ヲ  
 為スト、嗚呼国家ノ經濟一己人ノ」為  
 メニ左右セラル、如キニ至リテハ、未  
 マダ」商業社會ノ信用商法制度ノ完全」  
 ト云フベカラズ、Law恐ソルベシ  
 鈴木先生へ書信ヲ發ス  
 府下十五區六郡廢疾者ノ現數百四」人  
 ニシテ、本年一期 (自一月至三月三十  
 一日)」救助米四十六石八斗 (一人四斗  
 五升)」  
 之ヲ金員ニシテ三百三十三円四十二匁  
 四」厘給與スル都合ナリト云フ  
 露国鉄道ノ進路ハ、露領亜細亞ノ」起  
 頭 (ウナア)ニ到リTobolsk、Tomsk」  
 Irkutskヲ經過シテVladivostock」  
 ニ達ス、此旅行日數十五日程ナリ、尤  
 モ」浦塩港ハ、冬季結氷シテ南出シカ  
 タキヲ

[48頁]

以テ昨年朝鮮ト條約ノ上開ラキタル」  
 互市場慶興府マデ線路ヲ延長シテ、陸」  
 路貿易ヲ盛ニシ、時ヲ相シテ朝鮮ノ内」  
 地ヲ横断シ、元山津迄延長スル由」尤  
 モ起工ハ三月中旬頃、兩端ヨリ始ム」  
 ル計画ナリト

十八日 半曇半少雨

阪路平松氏ト共ニ元町マデ來タル  
 東京府廳ニ於テ、十五區現住人員ハ」  
 一百三十七萬六千二百八十五人ナリ、  
 調」査セリ、昨年ニ比較スルニ七萬七  
 千六百」二十四人也、然レドモ實際千  
 人ニ付」四十二三人程ノ比例ヲ以テ増  
 加シ」タリト云フ

日本新聞論シテ曰ハク、政治家ノ恐惶」  
 來ラント欲ス、金融社會ノ恐惶來ラ」  
 ント欲ス (六十銀行閉店ヲ例証ス)」流  
 行感冒症ノ恐惶將サニ來ラント」欲ス、  
 一方ニ廢娼論ノ恐惶起コリ、一方」ニ  
 梅〇童貞女子ヲ侵サントスルノ恐惶」  
 アリ、当局ノ人々輕視スベカラズト

[49頁]

十九日 半晴半曇

新潟新聞 東北日報ヲ開ス  
此両三日氣候甚ハダ蒸々シ  
独逸ノ政党分カツテ五トナス」曰ク保守  
守党（コンサルバシーブ）ト称シ」多  
ク貴族ヨリ成ル、其党中別ニ自由保守」  
党（フライコンサルシーブ）アリテ  
Bismark」之ヲ率ユ、又帝国党トモ云フ  
第二国」民政進党（ナアショナルリベ  
ラル）ト云」フ貴族平民相半セリ、其  
要ハ改進黨ナレ」ド帝国ノ分離等ハ大ニ  
之ヲ忌ム、其首」領ハ（ハンノーフヘ  
ル）洲ノ太守（フォン」ベンニグセン）  
氏ナリ、第三自由党」（フライジンニヒ）  
ト云フ、政府ノ干涉ヲ」ヲ（ママ）受  
ケズ、民力ノ發達ヲ希フ者ナリ、然レ」  
ドモ共和主義等ニアラズ、其領袖ハ」  
ヒリテル氏 ウキルヒュー氏なり、第  
四」中央党（チェントルム）ニシテ、  
旧教者ノ集」合ニシテ、羅馬法皇ノ勢  
ヲ恢復セント」欲スル也、其ノ名士ハ、  
ウキンドホルスト氏」ナリ、第五社會  
党（ソチアールデモグラチー）」ニシテ、  
財産ノ平均ヲ欲ス、黨員多ク職」工等  
ヨリ成ル、然レドモ其名士少ナカラズ

[50頁]

且ツ年々黨員増加スルノ勢アリ、今之  
ヲ」二大別スルニ  
（政府党）保守。自由保守。国民改進黨  
（反對党）自由。中央。社會  
北米合衆国ハ、巴西共和政府ヲ認」定  
セリ（一月三十日倫敦發）」  
メルボルン開會ノ豪州同盟會議ニ」於  
テ、豪州各植民地ヲ聯合シ、一政府ヲ  
戴キ、中和ノ政略ヲ行フコトヲ」議決  
セリ（二月十六メール）

二十日 晴

評林一束似頗穿当世之事情故」録之也

梨花

たのみえし 人もありしを此春も  
むなしく」ちりぬ つま梨の花

里月

心うき 秋ともしらで小田原の 里  
にや月」の ひとりすむらむ

湯月

時の間に かけきえにけりさつま湯  
うかふとみえし 秋の夜の月

[51頁]

厂 [雁]

鳴子にや おとろきつらむ昨日けふ  
わせ田かりかね 声の聞えぬ

茜

秋くれど 色こそみえぬ山かたに  
まきし茜や 名のみなからむ

巖

白波のよするまにまにくたけきて岸」  
のいはほは名のみなり鳧 [けり]

案山子

むら雀 落ちてそさわくみつほ田の  
山」田の案山子 なに守るらむ

松

大蔵の やまのあたりに年ふれと  
松」のみさをは 変らざりけり

残花

おなし枝の ものとも更にみえぬ哉  
残れる花の 色あさくして

青きみけし

たちぬひし 妻しあらずは水鳥の  
青きみけしも 色なかるらむ

名所月

浮雲に かくれかちなる秦山の 月  
も」

[52頁]

今宵は すみてける哉

杜鵑

五月雨や あやもわかぬ大空に  
ひと声名のる やまほと、きす

このて柏

井の上の このて柏に頼まれぬ  
うつる影さへ裏おもてにて

流の末

そのはしめ すみてみえたる梁川の  
なかれの末に なに濁るらむ

初厂

北の海に よきつとき、し厂かねも  
今」は都の そらになくなり

神代  
世も思ふ 心もらていたづらに 神」  
語りすと ひとのいふらむ

舟  
あた波の 立ちさわく日はわたの原  
舟こそ人のいのちなりけり

落葉  
皆な人の かけとたのみし大木さへ  
雨ふるまるとに 落葉してけり

波上月

[53頁]

やき大刀の 土佐の遠山はなれき」  
て むこの浦わに 月ぞたよふ

墨染袖

国をしのお 涙には猶ほしほるらむ  
きんと思ひし 墨染の袖

千鳥

すみた川 かは風さむみかつしかの  
てら鳥わたり 千鳥なくなり

鶯

おのかいつる 時や来さらむ皆人  
の まてと音せず谷のうくひす

浦月

くまなしと 誰もみるらむ相模の海  
三浦みさきの あきのよの月

深きなかれ

いつもいつも 澄ぬる思へは宇治川  
の きよき流をくめるなり鳧

深きこゝろ

あたまみの たぬをみても品川の  
ふかき心は しられぬるかな

|          |     |
|----------|-----|
| 飛天仙人偶遊下界 | 三条公 |
| 鄧艾入蜀險絶為功 | 山縣伯 |
| 秋水芙蓉依風自笑 | 西郷伯 |

[54頁]

|          |     |
|----------|-----|
| 洞庭始波木葉微落 | 山田伯 |
| 残雪在地掩映新日 | 松方伯 |
| 村女簪花穠豔羞洗 | 大山伯 |
| 燕姬靚粧巧笑便辟 | 榎本子 |
| 夏雲奇峰忽起忽伏 | 後藤伯 |
| 沙苑兒駒驕嘶自賞 | 青木子 |
| 新就銜馬歩驟未熟 | 岩村君 |

|          |     |
|----------|-----|
| 梨園按樂排比得倫 | 大木伯 |
| 白雲自流山泉冷然 | 寺島伯 |
| 夏山雨過夕陽自清 | 黒田伯 |
| 東海揚帆風日流麗 | 伊藤伯 |
| 絳雲在霄卷舒自如 | 大隈伯 |
| 九樂独唳深林孤芳 | 副島伯 |
| 散聖安禪自能奇遣 | 勝伯  |
| 寒流石上孤松独秀 | 鳥尾子 |
| 飢鷹独出奇矯無前 | 井上伯 |
| 寒蟬乍鳴疎林早秋 | 板垣伯 |
| 埋泉断劍臥壑寒松 | 谷子  |
| 清泉放溜新月桂樹 | 三浦子 |

毎日新聞 花、如、鳥、梟  
一律千篇似嘯沙、文無變化字  
無花此中一箇鳥郎在如見冷妍  
如李花、冷妍如李花

[55頁]

日々新聞 豊麗如紫陽花 七面鳥  
托根曾在貴人家春去秋来独自誇  
妖麗数蒙青帝寵籬藩一朵紫陽花  
報知 絳美如薔薇花、鴛鴦  
議論久嘗推大家委詳紆曲弄文筆  
毫端惜乏生々氣却似薔薇綵剪花  
朝野、驕婉如芍藥花、雉子  
環質瑤姿不自持、柳翁逝後幾遷  
移如今纔見遲春色紅芍一枝花發時  
讀賣 嬌佻如藤花 鸚哥  
高朗隴叟互相依芳事三春猶未非  
恰是薰風紫藤下遊蜂戲蝶漫紛飛  
時事、洒淡如梨花 鷗  
妙想描来殆入神当年意氣絶等倫  
此翁能事君知否淡々梨花漠々春  
公論 濃媚如桃花 雞  
京洛烟霞日々新不知何処賞青春  
東風二十四番裡一樹紅桃亦媚人  
政論 静逸如菊花 厂  
奇節逸情天下驚此花究竟敷浮榮  
去事陶令今何似籬畔寒霜多落英  
新報 明豔如櫻花 杜鵑  
文場才子是書生詞華煥發比朱櫻

[55頁]

已知瑤樹幾枝秀未見王梢千尺明

國民、妖艶如海棠 錦鷄鳥  
一時才調見超群誰教買生徒賣文  
昨夜海棠新帶雨環英幾朶媚紛々

江湖、幽潔如水仙 鷓鴣  
雪裡梅花清節堅歲寒苦操有誰憐  
品題又借雲菘句同調無多只水仙

日本 清潔如梅花 鷹  
柳榭偃靈心如鉄笑對山中三丈雪  
不爭群芳與陰陽梅花此處是豪傑

改進黨 魏曹操

大同派 吳孫權

保守党 蜀劉備

愛国公党 袁紹

再興自由党 □ 布

官報局長高橋健三官命ヲ以テ「洋行スルコトニ決シタリ、蓋タシ帝國」議會議事録印刷器等買入ノ事」件ナリト云フ

二十一日 晴

府下各私立學校生徒表 (廿二年十二月

二十日 文部省調査

|     |      |     |      |
|-----|------|-----|------|
| 北海道 | 二九八  | 奈良  | 一三二  |
| 秋田  | 四〇八  | 東京  | 五五七五 |
| 京都  | 三六四  | 大坂  | 四三六  |
| 神奈川 | 九四一  | 兵庫  | 五八九  |
| 長崎  | 三五七  | 新潟  | 一一二八 |
| 埼玉  | 九一六  | 群馬  | 七七四  |
| 千葉  | 一〇六四 | 茨城  | 七二二  |
| 栃木  | 七一四  | 高知  | 四四一  |
| 佐賀  | 四六六  | 鹿児島 | 六六七  |
| 三重  | 四八二  | 愛知  | 六一六  |
| 静岡  | 一〇二八 | 山梨  | 四三五  |
| 滋賀  | 三一六  | 岐阜  | 五八三  |
| 宮城  | 五〇四  | 長野  | 一〇七三 |
| 福島  | 五九六  | 巖手  | 三五六  |
| 青森  | 三五九  | 山形  | 六〇三  |
| 福岡  | 六三四  | 熊本  | 四五六  |
| 沖繩  | 三四   | 福井  | 四二七  |
| 石川  | 四一九  | 富山  | 三六四  |
| 鳥取  | 二九〇  | 嶋根  | 三一八  |
| 岡山  | 五五四  | 廣島  | 四四六  |
| 山口  | 七九七  | 和歌山 | 三六七  |
| 徳島  | 二四五  | 香川  | 二五八  |
| 愛媛  | 五三〇  | 大分  | 三九〇  |

宮崎 一二六

[58頁]

合計 二九七〇七

人力車取調 (本年一月三十一日府下)

人力車挽子雇主 七百六十二人

人力車挽子 三千百七十七人

貸人力車營業 五千二百三十七人

所有人力車 二千五百七十七人

借人力車 二万三千百二十六人

合計 四万三千八百七十九人

一人乗 一万八千六百五十八輛

二人乗 一万八千二百七十八輛

合計 三万六千九百三十六輛

府下牛乳商ハ、廿一年頃ニハ百六十戸」

廿二年末ニハ、二百十二戸ニ達セリ

少佐ウエスマン氏ハ、亜弗利加内部ニ」

進軍セリ (二月十九日)」

岡部外務次官ハ、神戸ニ着セリ」

高橋官報局長ハ、新橋ヲ發セリ

日本新聞評林二絶

雪卜年豊氣候和、豈圖平地起風波

長安今日米如玉、百万蒼生菜色多

唾手方寸志豈空 又将秘策奏奇功

人間物價貴兼賤 只在相公方寸中

自由党議員總會ヲ開ラク

[59頁]

二十二日

此夜佐藤良氏ヲ訪問シ、木村氏ニ」面ス

二十三日

雨天連日日曜常ニ閉戸先生、天氣アラバ常ニ出テント欲センガ、今日連雨新ラ」タニ霽レテ、新柳髮ヲ梳ツケリ、旧苔」亦鬚ヲ洗ラウノ景色ヲ演セリ、然ラバ」杖ヲ曳クベシト思ヒシハ遂ニ再タビ閉」戸先生ノ靈魂ニ取付カレ、六疊敷ニ」空移ル大陽殿ト終日對面セリ

二十四日

雨

タイムス新聞敗訴シテ、パーネル」氏ニ五千弗ヲ拂ヘリ、蓋タシ偽書ノ」公



判也

奥田義人氏ハ、特許局長ニ任ゼラレタリ  
外務次官岡部氏ハ飯朝、本省ニ出」頭セリ

[60頁]

二十五日 晴

山崎丑太郎氏ヨリ書状来タル  
第三師管下ニ於テ、近衛及ヨビ第三」  
第四師團及ビ海軍ノ演習ヲ執」行スル  
旨仰出サレタリ

二十六日 風晴

本年二月廿日現在ノ全国恩給者ハ、三」  
千五百五十七人ニシテ、此金額五十四」  
萬千六百十六円七十錢也  
昨廿年後半期、府芝居興行税ノ徴」取  
高ハ、四千百七円三十錢七厘ナリト」  
日本紙上ニ本郷喫驚生ナル者ノ比較ニ」  
テ左ノ一欄アリ

|       |         |      |
|-------|---------|------|
| 韓昌黎   | 福沢諭吉氏   | 蘇東坡  |
| 徳富猪一郎 |         |      |
| 柳河東   | 井上毅氏    | 蘇穎濱  |
| 田口卯吉  |         |      |
| 欧陽公   | 福池源一郎氏  | 曾南豊  |
| 矢野文雄  |         |      |
| 蘇老泉   | 中江篤介氏   | 王半山  |
| 三宅雄次郎 |         |      |
| 李太白   | 輕佻之処有或肖 | 李槐南  |
| 杜少陵   | 疎率      | 国分青崖 |
| 白香山   | 鄙俗      | 大江敬香 |
| 韓昌黎   | 難渋      | 井上巽軒 |
| 蘇東坡   | 生硬      | 末松青萍 |

[61頁]

陸劍南 開放 本田種井

二十七日 快晴

訳読科本科月次試業執行余出席ス  
午前零時浅草区三軒町出火、全焼千四」  
百廿四戸、半焼七十三戸、物置場全焼  
二十九戸」當場尽力ノ諸人ハ、指令官  
十二人、機関並其属」官百十一人、消  
防夫八百四十六人ナリト云フ

二十八日 雨

會計整理並耳疾診察ヲ乞ハン為メ」山  
崎氏ニ至タル

訳科尚ホ試験アリ

詔勅ヲ以テ貴族院議員伯爵」十五人、  
子爵七十人、男爵二十人ヲ撰挙」セシ  
ム

警察事務田中光顕氏ノ励精ニテ着」々  
改良ニ就クノ勢アリ、其他内治ノ施政」  
上□武ノ者不少ト雖モ、外交條約上未」  
マダ一定ノ方針ラシキ者出デザル也  
熊倉氏来訪ス

[62頁]

三月一日 晴

鬚ヲ剃ル

學友雑田氏、今朝目撃ノ珍事ヲ余ニ報  
ズ」氏曰ハク、今朝小吉川練兵場ヲ望  
メハ」衆人ノ□集スルアリ、怪ミテ之  
ニ至タルニ」十六七才位ノ商僕、咽喉  
ヲ切断セ」ラレテ死シタル者ナリ、面  
色蒼然、身体」既ニ凝結セリ、傍人語  
リテ曰ハク、此レ」一商店ノ僕ニシテ、  
店主ノ命ヲ以テ其掛」取りニ行キシ者  
ナリ、而シテ遂ニ殺害ニ遭」フ、蓋ダ  
シ囊中十余円ヲ儲ヘシト、嗚呼」近日  
米價愈上進、壹円ニ付上等九升ニ至」  
タリ、細民愈究ス、小人究スレバ濫ス、  
故」ニ大罪ヲ犯スルニ至タル、練兵場  
ハ輦轂」ノ下百万人烟集合ノ裡ニアラ  
ズヤ、然リ」而シテ此咄々快事アリ、  
戒シムベシ、戒」シムベシ、蓋ダシ此  
世界下等社會ノ過」半ハ、決シテ容易  
ニWakefie [i] d' [s] The Vicar」ガ説  
法ニ従順ナラザル也、Arnold、」  
Sweet&lightノ如クナラザル也

此頃近松翁ノ十二段百日曾我等ヲ」緋  
ドク、其造語ノ妥当、其運筆ノ周到大」  
家ニ耻ヂズト云フ可シ、然レドモ動モ  
スレ」

[63頁]

バ卷中人物ノ行為ヲ漢土ノ故事ニ取」  
リタルハ物足ラス心知セリ、例セハ牛  
若丸ト」老人トノ邂逅ノ一段、張官下

犯橋辺ノ」一段ヲ模写シタル者ナリ、尤モ此ニ書ハ」未マダ雄篇大作トスルニ足ラザレバ、翁ノ」真個ノ技倆ヲ知ル能ハザル也

二日 晴

鶴雛阿氏ト共ニ散歩セント欲シ」共ニ路ニ出テ、其方向ニ付キ討論セシ」ニ友人阿部氏来リタレバ、遂ニ阿氏ト」分離シ、阿部氏ト共ニ佐藤氏ヲ訪問」シ、阿部氏ト圍碁ノ遊戲ヲ為スコト六七」番、晚餐ヲ喫シテ飯ル、佐藤氏駒

込」ニ用事アルヲ以テ余ト共ニ出ツ」早川平氏ヲ訪問ス、不在ナリ  
京都ニ於テ鳥尾中将刺殺ニ遭ハ」ント欲シタレドモ、却ヘッテ中将ノ為」メニ捕ヘラレタリ、暴人二名監獄ニ拘」留セラレタリ、後報ヲ俟ツテ記ス」ベシ

[64頁]

三日

熊倉氏来訪ス

四日

明治廿三年度歳出入總算ヲ公」布セラル

昨年ト對照シ、其重要ナル者ヲ掲グ」レバ左ノ如トシ

|      |                         |    |
|------|-------------------------|----|
| 二十三年 | 8 1 9 8 0 0 8 1 円 4 2 1 | 歳入 |
| 二十二年 | 7 6 6 0 0 1 8 5, 2 3 4  | 歳入 |
| 廿三年度 |                         |    |
| ノ増加  | 5 3 7 9 8 9 6, 1 8 7    |    |
| 二十三年 | 8 1 9 7 8 5 7 8 円 6 9 2 | 歳出 |
| 二十二年 | 7 6 5 9 6 9 1 2, 7 5 9  | 歳出 |
| 廿三年度 |                         |    |
| ノ増加  | 5 3 8 2 2 6 5, 9 7 3    |    |

歳入

経 常

|           |                             |               |
|-----------|-----------------------------|---------------|
| (1) 租税    | 6 6 3 2 7 5 0 7 円 1 9 匁 4 厘 |               |
| 減地租       | 3 9 5 3 0 3 7 8             | 昨年トノ差二百七十一余万円 |
| 所得        | 1 0 5 3 6 3 1               |               |
| 増酒造       | 1 1 1 5 8 9 5 3             | 昨年トノ差六十六万余円   |
| 増海関       | 4 1 7 5 5 4 2, 1 9 4        | 七万余円ノ差        |
| (2) 免許手数料 | 1 5 8 3 4 9 1 円 0 6 4       |               |
| (3) 官業及官有 |                             |               |
| 財産収入      | 8 1 7 8 1 8 1, 9 1 8        |               |

[65頁]

|          |                         |  |
|----------|-------------------------|--|
| (4) 雑収入  | 6 4 4 2 3 9 円 6 0 2     |  |
| (1) 罰金没収 | 4 0 9 0 8 2 円 4 0 9     |  |
| 經常合計     | 7 6 7 3 3 4 1 9 円 1 7 8 |  |
| 臨時部合計    | 5 2 4 6 6 6 2, 2 4 3    |  |
| 總 計      | 8 1 9 8 0 0 8 1, 4 2 1  |  |

歳出

経 常

昨年ト對

|          |                        |           |
|----------|------------------------|-----------|
| 1. 皇室費   | 3 0 0 0 0 0 0 0 円      |           |
| 2. 外務    | 8 4 4 6 3 6, 3 1 9     | 一万円ヲ減ズ    |
| 在外館      | 6 9 0 5 2 8, 1 1 9     |           |
| 3. 内務    | 6 6 3 4 6 7 8, 4 4 1   | 二十二萬円余ノ増  |
| 警視廳      | 3 7 9 4 4 4            |           |
| 4. 大蔵    | 3 0 6 1 4 0 4 1, 5 0 1 | 一百0二萬余円ノ減 |
| 国債       | 2 0 0 0 0 0 0 0        |           |
| 貴族院      | 3 6 8 7 4 7            |           |
| 衆議院      | 4 2 2 4 8 4            |           |
| 内国税徴     |                        |           |
| 収費       | 2 0 3 8 2 8 1          |           |
| 北海道廳     | 1 1 1 3 9 5 8, 1 7     |           |
| 二十一年度以前  |                        |           |
| 非職者俸給    | 1 1 3 4 1 8, 4 0 9     |           |
| 5. 陸軍省   | 1 1 8 3 3 2 6 5, 6 0 6 | 三十八萬余円ノ増  |
| (6). 海軍省 | 6 0 5 3 0 4 5, 9 1     |           |
| (7). 司法  | 3 7 8 7 0 6 2, 0 1 4   |           |
| 裁判所      | 7 5 5 8 5 3 8, 4 1 4   | 五十九萬余円増   |

[ 6 6 頁 ]

|          |                        |          |
|----------|------------------------|----------|
| (8). 文部  | 9 8 7 0 7 7, 2 5 5     | 四百六十余円増  |
| 大學       | 3 3 1 6 5 6            |          |
| 高等中學     | 2 9 1 5 5 8, 2 7 7     |          |
| 諸學校      |                        |          |
| 及圖書館     | 1 7 0 7 9 2            |          |
| 9. 農商務   | 1 0 1 3 3 8 2, 3 1 1   | 五十八萬余円増  |
| 10. 逓信省  | 4 4 1 1 8 9 2, 6 6 3   | 一百六萬余円ノ増 |
| 經常部合計    | 6 9 1 7 9 0 8 2 円 0 2  |          |
| 臨時部合計    | 1 2 7 9 9 4 9 6, 6 7 2 |          |
| 東京下関     |                        |          |
| 紀淡山□炮臺   | 3 1 0 0 0 0            |          |
| 製炮費      | 4 0 0 0 0 0            |          |
| 兵器彈藥     | 1 7 0 7 5 9, 0 5 7     |          |
| 軍艦製造     | 3 5 0 8 8 4, 2 5       |          |
| 特別造船     |                        |          |
| 火藥製造所    | 3 1 5 0 0 0 0          |          |
| 第三内閣博覽會事 |                        |          |
| 務局       | 9 3 9 2 0, 5 6 5       |          |
| 河身脩築     | 7 9 5 0 0 0            |          |
| 横浜築港費    | 7 0 0 0 0 0            |          |

月試験成績報告セラル、余本科丙ニテ」  
七十三点第八番、訳読一級、後期八十

六」点ニシテ三番ナリキ

五日

鳥尾中将ヲ殴打セシ虎口満ハ、重禁」  
錮一ヶ月十五日、浅井譽至夫ハ重禁

[67頁]

錮二十五日ニ処セラレタリ、其原因ハ」  
兩人等此前官吏侮辱罪ヲ以テ、既ニ」  
探索中ノ処、兩人等ハ同シク是レ捕縛」  
ナリ、寧シロ名タ、ル事ヲ為シテ縛セ  
ラレン」ト興世王然タル口調ニテ行フ  
タル者也」ト憐笑スベキコトナリ  
法律第十五号ヲ以テ、陸軍刑法」改正  
追加ノ件ヲ裁可ス

六日

府下ノ重モナル女學校女性徒ハ、合計  
千八」百七十六人（東京ノ外）、尤モ多  
数ナルハ静岡縣」ニシテ（百人）、北海  
道 沖繩ノ外尤モ少数ナル」ハ徳島ナ  
リ、新潟縣ハ四十三人ナリ」（大日本教  
育会調査）

小林魁郎氏ト途ニ遇フ、余、氏ト分袂、  
茲ニ一」年餘ナリ、氏ハ小林雄次郎氏  
ノ子息ナリ

芝区□□町大火、全焼八百余戸

陸海軍聯合大演習統監ハ天皇陛下」審  
判官副長熾仁親王、審判官ハ川上操六」  
氏外数名、其他ノ役員決定御親裁ニ相」  
成タリ

フヒリツピン群島ノ支那人ハ、十四歳  
以上ノ」

[68頁]

ノ者ハ、八分ノ増税ヲ拂ハザルベカラ  
ズ」（二月十四日馬徳利發）

露政府ハブルガリヤ王フエルシナンド  
公ノ主」權タルヲ心悪ク思モヒ、伯林  
條約ノ諸国ニ」一意見書ヲ送クリタル  
ヨシ、而シテ其影嚮ニ」テ露帝ハ佛国  
貴族路易那破翁ニ授クル」ニ貴トキ軍  
職ヲ以テシ、佛国ヲ動シタリ」（九日  
發）

七日 曇

二十八日御發輦第三師管下ニ於テ、陸」  
海軍大演習御施行尋テ京都ヘ行幸」仰

出サル

第三回内国博覽會ハ本月廿六日開會」  
ノ式典ヲ行ナヒ、縦覽ハ四月一日ナル  
旨」告示セラレタリ

エミールベルタン氏ハ満期解雇、本日  
帰国

早川忠治氏ヲ訪問ス

近頃脩史ノ事業着々進歩シ、間々未曾  
有ノ」新奇ナル説ヲ出タシ、世人ノ一  
驚ヲ博スル」者アリ、文學博士重野氏  
其人也

日本新聞窃カニ国史ノ殘缺セラル、ヲ  
憂」レヘ、評林欄内掲ヒ二詩

[69頁]

史官幾歳負恩榮寂寞著書何所成考證」

趁時庸博士誌□諛墓俗儒生拾來」

斷紙零翰跡抹去忠臣孝子名章句漫」

称圖不朽孔仁孟義已捧荆」

千年正史故搜探獲鬼頭來喜不堪」

□子遺言販俗說平ム忠諫付妄談」

散官養老至勲五金屋貯數其數三」

秘文書章閱世教詔碑訣禍有餘」

慙」

歴史ハ直筆正書セザルベカラズ、然レ  
ドモ」又国惡ヲ諱ムノ例、国ノ美ヲ揚  
グル例」先哲既ニ之ヲ云ヘリ、去レバ  
其事ノ一順」一逆以テ大義名分ヲ誤マ  
リ、風俗」ヲ攘乱セザル程ノ少事ナレ  
バ、特別」ニ奇ヲ衒ラフルニモ及ボザ  
ルコト也、況ン」ヤ歴史ノ本務タルヤ、  
一箇人行為ノ是」非ヲ主トセザル者ヲ  
ヤ、若シ止ムナクン」バ疑ヲ存ジテ可  
ナリ、（縱令ヒ己ノ心ニ真」ナリトスル  
トモ）況ンヤ其證據ノ猶ホ」不充分ナ  
ルヲヤ、適ニ人ト自身ノ美ヲ傷」ブル  
ニ過キズ、史學者謹マザルベカ」ラズ、  
尚ホ他日閑ヲ得テ論ズルコトア」ルベ  
シ

[70頁]

八日 晴

皇后陛下四月四日京都仰啓ノ旨」仰出  
サル

早川氏ヲ訪問スト雖モ不在、佐」藤良氏ヲ訪問シ木村氏ニ遭フ

去月廿七日鮮良右一郎氏ノ死」去セラレタルヲ聞ク

九日 曇

良源寺ニ往キ、熊倉 鶴巻ノ二氏ヲ」訪問シテ、豚肉サメ肉以テ昼」飯ヲ喫ス、寺ハ谷中ニ在リ、四辺」閑静、時ニ黄鳥ノ囀ズルヲ聞」キ、毫モ市塵ノ氣アラズ、老僧ノ」門前ヲ掃ラヒ、雑僧ノ法華経ヲ」読ム、亦夕寂々空々タリ、坂路上」野ニ出デ、鉄道馬車ニ乗ジテ目鏡」橋ニ至リ、下宿所ヲ探索シテ返ヘル」時ニ午後二時ナリ、雑田氏同シ」ク遊ソフ

鶴巻氏来遊ス

十日 雨

海軍少将福島敬典氏ハ、陸海」

[71頁]

軍演習ノ海軍司令官仰付ラレタリ

此日學校ニ行カズ

十一日 晴

此日駿河台西紅梅町一番」地和泉清十郎方ニ轉宿ス

此ノ為メ學校ヲ休業シ、且ツ山」崎氏ヲ訪問シ、甚ハダ多忙」ナリシ

地震アリ、其間一分

十二日 雨

父君ニ郵書ヲ呈シ、並ビニ吉川 熊倉ノ二」氏日本新聞社ニ書ヲ送クル

今日Franchiseヲ草ス

早川忠 平松両氏ヲ訪問シ、煎餅ヲ」喫シ懇談、数時ニシテ返ヘル

匈牙利總利大臣チツツア氏、辭職」シタリ (三月十日發)

十三日

北海道現在ノ人口ハ、三十四万二千二百」卅二、戸数七万二千六百七十七ナリ

日本新聞歴史家ト考證ナル題ヲ掲」

[72頁]

ケテ大ニ重野氏ヲ駁撃ス、大ニ余ノ意

ヲシテ」悦バシム、氏果シテ首肯スルカ

クリツスマス、カロール開講

十四日 晴

佐藤良氏ヲ訪問ス

十五日

佛国政府ハ、千八百九十一年度豫算草案中」非常軍費トシテ、七億万フラン(我一億四千万円)」ノ支出案ヲ立テタリ (二月廿三日巴里案)

亞弗利加 (ダボメー皇) ノ兵卒五百人ハ、(コトノー)」ノ佛国郵便局ヲ□撃セシニ、(セネガル) 軍兵ハ」是ヲ打敗ブレリ

露国ハ (バルガリヤ) ニ向ツテ、占有地料ノ残金」三百万ルーブル (我二百二十五万円) ヲ督促セリ

合衆国ハ英國ト罪人引渡條約ヲ締結セリ

鶴巻氏来訪ス

十六日 曇風

佐藤良 阿部両氏来訪ス

十七日 晴

佐藤氏来訪ス

[73頁]

日本新聞社 朝野新聞社ノ両」社ニ向カツテ書翰 ヲ發ス

チラール内閣辭職ス

十八日 晴

Sir Roger De Coverley開講

Vicar of Wakefield終ハリ」Right is Mightヲ呻ス

嚮日土佐日記ヲ読ム、「河のあしかげ」」云々ニ至タリ以為ラク、紀氏ハ夫レ堂々タル」太守ニシテ、亦夕是レ讀書人ナリ、然リ而シテ」如此文藻ヲ筆シ、之ヲ世ニ公示シテ觀」トシテ慙色ナキ所以ノ者何ゾヤ、以テ当□」ノ状況ヲ一斑スベシ、羅馬ノ末路ニ当リテヤ」其名家ノ著書往々聞ニ忍ヒザル者アリト、悪」風ノ浸染スルヤ、猛獸洪水ヨリモ恐ソ」ルベシ

十九日 少雨

諺ニ曰ハク、詩作ラルヨリモ、田作レト云フ」コトアリ、如何ニモ世情ヲ穿チタルコトナリ」學實用ヲ為サズンバ又何カ有ラン  
二十一年々末現在ノ新聞雜誌雜計五」百十一種中、時事ニ係ル者百二十一ニシテ」

[74頁]

學藝雜誌百十五ナリナリ (ママ) 而シテ二十年ハ」百八十三種ニシテ、十九年ハ百三十七種ナリト  
ド・フレシネー氏代ツテ新内閣ノ組織ニカ、レ」リ  
裁判所構成法施行條例ヲ發布セリ、法律二十二号也

廿日 曇

米價騰貴細民究渴府下盜」難届ハ、去ル十五日八十四件、十六日」八十六件、十七日七十八件ナリト

(バルガリヤ) ハ即時露国ノ要求金ヲ」拂ラフベキ手筈ナリ (二月廿七日)  
佛国新内閣ノ組織成リ、ド・フレシ」ネー氏内閣議長兼陸軍卿ニ、(リボー)」氏外務卿ニ任ゼラレタリ  
独相桂冠ノ噂アリ

廿一日 少雨

早川忠氏ヲ訪問シ、霜鳥二氏ヲ訪」問シ、佐藤良 阿部二氏ヲ訪問シ」園菜、昼飯ヲ喫シテ返ヘル  
熊倉氏來訪、一泊シテ飯ル

[75頁]

昨廿日夜八時、高知縣人岩本寅喜ナル者、関西」日報社ニ入り、末廣重恭氏ヲ刺サント欲セシガ、発見」セラレテ逃走ス、然レドモ廿一日拘引セラレタリ、蓋」ダシ政治上ノ意見相合セザルガ為メナリト  
労働時間切締ノ事ニ関シ、英国坑夫二十」五万人ハ、□氏ニ法律ヲ以テ規定スベキ旨申込」ミシガ、議合ハズ、遂ニ時間短縮ヲ口実トシテ、同」盟罷工ヲ企ダテタリ

伊藤伯ハ、再タビ雲蒸龍變スルノ風説アリ、有」客若尋塵世事笑而不答秘看天ト伯、豈ニ此」流カ

廿二日 鶴卷氏來訪ス 半晴

早川氏へ書状ヲ發ス  
ウキルテル氏万国民Thebanノ降盛」迄デ読了ス  
ビスマルク公辭職故ノ陸軍大將」Von Caprivi独逸帝國宰相兼李国内」閣總理大臣ニ任ゼラレ令息ヘルベルト」伯ハ更ニ臨時外務大臣ニ任ゼラレタリ」(本月廿一日) 其源因ハ、第一社會党ノ勢」力漸次増加シ、一統自由党ノ勢力大ニ減」ジ、第二其意見ノ鎮壓條例ハ、九十八ニ對」スル百六十八ノ多数ヲ以テ否決サレ、第三」

[76頁]

今帝ノモルトケ將軍ノ參謀長タルヲ止メ」第四労働問題ノ關係、第五七十五」歳ノ高齢ナリ、其労働問題ナル者ハ、商」工務大臣ベルレブシユ男ノ發意ニシテ、同」男ハ同盟罷工所々ニ起コルヲ見テ、帝ニ勸」メテ列國會議ヲ起コシ、第一労働者ノ」賃銀ノ最少額ヲ一定スルコト、第二婦女」及未丁年ノ労働ニ一定ノ制限ヲ設ク」ルコト、日曜ノ労働存廢可否、第三一日ノ」労働時間ヲ八時ニ制限スルコト等ニシテ」此公ノ意見ハ之ヲ議決シタリキテ、其」實」效ナク徒ラニ社會党ヲ煽動スルニ過ギザ」ルトノ意ナリト」リバープールノ罷工ハ、兵力ヲ要スルニ至レ」リ (三月廿日倫敦)

廿三日 晴

早川氏ヲ訪問シ本村、佐藤」阿部ノ三氏ト共ニ櫻花ヲ東台」ニ尋ヌレバ、春在枝頭既十分ト云」フ程ニ至ラザレド、所謂半開ノ所」一段ノ見榮アリ、遊人雲集頗ブル」雜踏シ、櫻花モサゾ喜バシクア」

[77頁]

ラン、昨日直梅花々々ト持口辨ハサ」

レタル百花魁モ、今ハ空シク一人ノ」多情士アルナシ、四時三序成功者」表ルトハ之レヲ謂フ、興新緑陰深」深鶯語者又成一事又遇春多少感」概ナキニシモアラザル也」山ヲ觀、海ヲ觀、深山幽谷鬱々葱」々野獸ノ走ル所ヲ觀、迅雷疾風ヲ」觀ルヤ、胸襟ノ寛恕タルヲ感ズ」

The greatest nation in」Europeヲ呟ス、是問題実ニ重」要ナリ、而シテ Greatestナル語」ハ、形以上形以下ノ二様カ意味」アリテ、頗ブルLogicノ所謂am-」biguityナル者ナリ、然レドモ余ハ」之ヲ形以下ノ義ニ取り、現今欧州」政治海ノ現象ニ取り、魯西亜ヲ以テ」之ニ当ツ、然ラハ形以上トハ如何」例セリ、Rome Greece等既ニ亡ロビ」タリト雖モ、其制度 文物 人心ニ感染」スルコト甚ハダ深カシ、此レ形以下ヲ」失フテ尚ホ形以上ヲ有スル者ニ」アラズヤ

[78頁]

廿四日 雨

往日饗庭篁村氏ノ文ヲ読ミ、其輕」妙ニシテ、嘲世諷俗ノ意アルヲ看ル、此」頃Swift氏ノ著書ヲ読ミ、竊カニ氏」ト同臭ノ感アリ

Mrs. Eastlake出勤教授ス」 Doctor Eastlakeハ余ノ魯西亜」ヲ以テThe Great nation in」Europeトナセンコトヲ反駁セリ、然レドモ」余ハ信ズ、魯国ハ是非共後來欧州」大勢ノ主權タラザルベカラズ、是レ歴史」上時勢上必然ノ勢ナリト云フ可シ

独相桂冠三国同盟破綻」セントス、是レ如何トセンカ」柏林ニ於ケル社會党ノ投票總数」ハ十一万五千個ニシテ、前回ヨリ二万」人モ増加セリ

勅令第三十六号ヲ以テ、高等官々等俸」給令ヲ改正シ、2-3 (在職五年以上)」(4-6) 在職三年以上ニアラザレバ」陸叙スルコト得ズ等ナリ、又第三十七号」ヲ以テ判任ハ、2-3 (在職) 四

年以上」(4-6) 直二年以上ニシテ、陸叙スルコトヲ」

[79頁]

得ル等ナリ

外山博士ハ、廢娼ヨリモ廢妾ノ急ナ」ルヲ論ズ、加藤博士ハ廢娼ヨリ廢藝」妓カ急務ナルコトヲ論ズ、余ハ外山氏ノ」一層地歩ヲ占メタルヲ覺ボユ、又黒川」博士ハ、遊女學校設立ノ奇策ヲ述ベタリ

二十五日 雨

フォン、ボエッチエール將軍ハ、普国内」閣議長ニ任ゼラレタリ

三月廿八日大演習施行ノ為メ、御発聲」アラセラル旨仰出サル

二十六日 晴

兩陛下臨御博覽會開場式ヲ執」行セラル、同積總面積四万三千九百」五十坪ニシテ、今日迄ノ出品調査濟ハ」十八万七千九百四十六点ニシテ、十四年」ヨリ九万三千十一点ノ増加ナリ

特別地租脩正額ニ付、被撰并撰」舉權資格ノ有無ニ及ボシ、世間囂々タ」リ博覽會出品人ハ、大凡十八万七千九百」四十六人ナリ

[80頁]

博覽會開館ノ模様ハ、午前十時頃」兩陛下臨御、伏見宮總裁祝辭ヲ奏上」シテ、勅語アリ、高崎東京府知事、府縣知事」ノ總代トナリテ祝辭ヲ朗讀シ畢リテ」各館ヲ御巡覽アラセラレ、十一時四十分」還幸アラセラレタリ、此日各親王 各大臣議官」文武高等官 各國公使 出品人 招待人」等大凡千数百名ニ達シ、上野為メニ動」ゴク

二十七日

夙ニ勇壯活發標悍決死ノ人ヲ以テ」團結シタル金沢盈進社ハ、解散ヲ命」ゼラレタリ

朝鮮政府ハ、朴齊純氏ヲ欧州全權」公使ニ命ジタルニ、支那官吏ハ清国ノ特」許ヲ得ベキ者ナリト故障シ、又(リゼ

ンドル) 將軍ヲ以テ (デンニー) 判事  
二代ラシナント」セシニ、是亦タ清国  
ハ認許セザリシ

今回大演習組立ハ、大概如左

我帝国ハ、海外二強国ヨリ来襲ヲ受ケ」  
既二十数日前ヨリ戦端ヲ開ラキシニ、  
敵」軍ハ窃カニ東京城ヲ衝クノ目的ヲ  
以テ、東」

[ 8 1 頁 ]

京湾ニ侵入セントスルノ計画アルヲ探  
知シ、我」ガ第三師團 (名古屋)、第一  
師團 (東京) 共ニ」カヲ併ハセテ東京  
ヲ防ゲリ、然ルニ敵ハ、第三師」團ノ  
備少ナキヲ伺ガヒ、尾參地方ニ上陸ス  
ルノ」飛報アリシヲ以テ、名古屋兵ハ  
疾駆シテ該地」ニ達セシニ、既ニ敵軍  
ハ我艦隊ヲ破ブリ」半田武豊等ノ要港  
ニ上陸セルヲ以テ、直チニ」戦ヲ開ラ  
キ、參州碧海郡地方ニ於テ大激」戦ト  
ナレル也、敵ハ一擧シテ上陸シタレド」  
地利ニ不案内ナルヲ以テ、我軍ノ為メ  
ニ形」勝ヲ占メラレ、連戦利ヲ失シテ、  
名古屋近」傍ニ至レリ、是ゾ兩軍大勝  
敗ノ分カル、処」ニシテ、勝ヲ得タル  
者ハ名古屋ニ拠リテ今回」ノ戦局ヲ結  
スベシ、右ハ事実上争ソフ」ベカラズ、  
何トナレバ、来四月三日ヲ以テ名  
古」屋ニ於テ、兩軍ノ大觀兵式ヲ行ナ  
フニ、其兵」各数十里ノ遠地ニアラバ、  
諸郡其日」合同スルコト能ハザレバナ  
リ (朝野新聞社) 員通信)

先日三崎町ニ於テ殺人セシ者ハ、杉井」  
磯次、田中為則ノ兩人ナルコト明白セ  
リ

木村 佐藤 阿部ノ三氏来訪シ、圍」  
碁ノ遊ヲ為ス、小道尚ホ止ムニコサ」

[ 8 2 頁 ]

ルナド等ノ事ニハアラザルナリ、呵々」

廿八日 雨

陛下御進發

午前ヨリ西軍ノ艦隊清水港ニ向カエテ」  
攻撃ヲ始ジム、鳥羽港ノ東艦隊ハ、二

十」九日發纜ノ管ナリ

各省官制通則ヲ發布ス、其要領ハ、次  
官 (敕任) 局長 (敕二等一奏三等)  
參事官 (奏任) 秘書官 (奏任) 二人  
書記官 (奏任) 各省專任參事官 專任  
書記官ハ併セテ八」名以下トス、試補  
及屬 (判任) トス、局中」各課ニ課長  
一人ヲ置キ、又總務局ヲ置」

キ次官ヲ以テ長ニ充ツ

陸軍省官制改正ノ件ヲ發布ス、陸軍」  
大臣官房ニ人事課 (長大佐) ヲ置キ、  
總務局ヲ」置カズ、參事官四人ヲ置キ、  
書記官ヲ置カズシ」テ理事試補二人ヲ  
置ク、又軍務局 會」計局 醫務局  
法官部ヲ置ク、各局部分」カツテ各課  
トス、總計二百一人、内五人」兼職ト  
ス

海軍省官制改正ノ□ヲ發布ス、海軍省」  
ニハ、總務局參事官 書記官ヲ置カズ

[ 8 3 頁 ]

大臣官房ニ主事 (大佐) 副主事 (主  
計監) 各」一人、秘書官 (佐官亦主計  
監) 二人ヲ置キ」第一局 (教育、徴兵  
等) 第二局 (兵器彈藥) 軍艦ノ製造  
準備等) 第三局 (會計) トナ」シ、  
第一第二局長ハ少將、第三局長ハ主計」  
總監トナス、各局亦分カツテ各課トナ  
ス」總計百十二人トナス

以上ノ改正等ニ付、農商務省ハ直チニ  
高」等官非職六人、其他八十九人非免  
ノ汰」沙ヲ受ケタリ、スハ始ツタリ、  
ヤレヤレー

訳読科月試業執行ス

廿九日 雨

羽陽館ニ向カツテ書狀發ス

訳読科月試業執行

“Naze” (Why) (和文英訳) Class」  
Composition (It's Subject is」 “Neighbor  
Jinta's Bean」 Paucer” and Would be  
composed」 for 40 Minute [s] and My」  
happiest day (宿題) ヲ艸ス

近松翁著天智天皇 日本振袖」始ノ二  
書ヲ緋ドク、日本振袖始



[ 8 4 頁 ]

ハ、曾我及十二段及天智天皇ヨリモ遙  
 カニ上作ナリト思考ス、然レドモ四書  
 皆」筆端流暢筆々人神ノ趣キアリ、何  
 人」ガ知ラレザレド、天智天皇花くら  
 ヤの」段ニ、菅原道真の歌ヲ天智天皇  
 ニ述」懐ニ挿入セシヲ評シ、ex Post」  
 factoト云ヒシハ、甚ハダ当ヲ失シ」タ  
 ル者ナリト思フ、読去り読来タ」リ、  
 何トナク只ダ舞臺則ハチ規」模ノ少ナ  
 キヲ覺ボユ、規模ノ事ニ付」近日梓上  
 ノ稗史中尤トモ雄大即」ハチ大仕掛ナ  
 ルハ佳人之奇遇ナル」ベシ、尤トモ精  
 密ナル眼光ヲ以テ」觀察スルトキハ、  
 或ハ此等ノ書ハ真正」ノNovelニ適當セ  
 ザル心知セリ  
 先ヅ当今小説家ノ二三人ヲ擧ゲン」  
 ニ美妙ハ、精細其弊ヤ錯雜、忍」月ハ、  
 敏筆其弊ヤ甚ハダ穿、南翠ハ」富膽其  
 弊ヤ冗長、篁村ハ、輕妙其弊ヤ淺薄、  
 思軒ハ、簡潔其弊ヤ佶」屈、鷗外ハ、  
 沈重其弊ヤ活氣ナシ」坪内逍遙ニ至テ  
 ハ、諸家ノ善悪ヲ兼」併スルノ傾アリ、  
 而シテ露伴ハ、(ゾーラ)」

[ 8 5 頁 ]

ノ流ヲ酌ムノ傾アリ  
 佛国内閣員辭職ノ旨ヲ記セシガ、今之」  
 レガ原因ヲ聞クニ、カウNSTAN (内  
 務卿)」氏ハ、共和党元老議員マゾー氏  
 ヲ大審院」評定官 (或ハ院長) ニ任ゼ  
 ントテ動議セ」シニ、内閣議長チラー  
 ル氏ハ、之ヲ不可ト」シ、激論ノ末遂  
 ニコNSTAN氏ハ辭職」セリ、カク内  
 閣員不折合ヲ生ジ、遂ニ辭職」セルナ  
 リト

卅日 雨

午前一時、鳥羽近海ノ海戦大ニ激」烈、  
 五時頃西軍全勝ヲ占メ、海軍兵ハ」百  
 名、陸軍兵直チニ上陸、武豊港ヲ」占  
 領ス  
 二十三年歳出入追額ヲ公布ス、歳入」  
 ヲ二百五十七万四千三百六十九円九」  
 十六匁四厘、歳出ヲ二百五十万五千」

百一円九十六匁四厘トナス  
 雛田氏ト共ニ熊倉氏、鶴巻氏ヲ」良源  
 寺ニ問フ、真黒刺身ノ饗応ニ」預カリ、  
 飯路山崎氏ニ至タリ、會」計上ノ事ヲ  
 報告ス

[ 8 6 頁 ]

地價脩正反歩当概算

| 等級  | 収穫       |
|-----|----------|
| 一 甲 | 一石九斗五升   |
| 等 乙 | 一石八斗貳升五合 |
| 二 甲 | 一石八斗     |
| 等 乙 | 一石七斗二升五合 |
| 三 甲 | 一石六斗五升   |
| 等 乙 | 一石五斗七升五合 |
| 四 甲 | 一石五斗     |
| 等 乙 | 一石四斗貳升五合 |
| 五 甲 | 一石三斗五升   |
| 等 乙 | 一石貳斗七升五合 |

政府紙幣流通高

|          |             |
|----------|-------------|
| 明治廿二年一月計 | 一億三千八百四十六万円 |
| 内兌換券     | 六千四百十二万円    |
| 政府紙幣     | 四千六百六十七万円   |
| 銀行紙幣     | 二千七百六十七万円   |
| 明治廿三年一月計 | 一億四千二百三十八万円 |
| 内兌換券     | 七千四百一十一万円   |
| 政府紙幣     | 四千百五十四万円    |
| 銀行紙幣     | 二千六百七十三万円   |
| 其差廿三年增高  | 三百九十二万円     |

[ 8 7 頁 ]

明治二十一年中、全国屠殺ノ牛ハ、総  
 計八万四」千七百十頭ニシテ、二十年  
 ニ比スレバ、二万九百六」十三頭ヲ減  
 ゼリト云フ

卅一日 晴

昨夜卅日、武豊ニ於テ兩軍ノ開戦アリ、東」艦全敗、卅一日午前八時半西軍ノ上陸」兵ハ、東軍ト逆戦シタリ、西軍一タビ敗走シ」テウメイ山ヲ守モル、東軍勝ニ乗ジテ三方」ヨリ攻タルト雖モ、遂ニ敗ブル、コト能ハズ、力」竭キテ敗走ス

午前九時兩軍艦隊伊良子崎ニ於テ」一大戦アリ、東軍鳥羽ニ退ゾキ、西軍知茅」湾ニ入り、九時佐久間へ進ミ烏ヲ楯」ニシテ碇泊ス

普国總選舉ノ結果

|            |        |
|------------|--------|
| 連合党 (政府党)  | 百十四名   |
| 急進黨        | 五十六名   |
| 社會党        | 三十五名   |
| 中央党 (旧教徒)  | 百 名    |
| アルサス、ローレン州 | 十三名    |
| 波蘭属領       | 十四名    |
| 合計         | 三百三十二名 |

[ 8 8 頁 ]

明治廿一年間貿易高

輸出

|   |                   |
|---|-------------------|
| 米 | 2 2 6 1 8 4 5 3 円 |
| 佛 | 1 7 6 3 6 2 5 0   |
| 支 | 1 1 4 2 6 7 1 4   |
| 英 | 8 7 1 0 0 1 2     |
| 独 | 1 8 1 7 5 6 4     |
| 計 | 6 5 7 0 5 5 1 0   |

輸入

|   |                 |
|---|-----------------|
| 米 | 5 6 4 8 3 7 7   |
| 佛 | 4 1 2 5 1 8 9   |
| 支 | 1 0 3 6 0 1 3 4 |
| 英 | 2 8 6 9 7 5 6 7 |
| 独 | 5 2 6 0 8 9 6   |
| 計 | 6 5 4 5 5 2 3 4 |

詩集自序ヲ撰ス

[ 8 9 頁 ]

[記述なし]

[ 9 0 頁 ]

大井練平

真砂町廿四番地 山崎方

須田虎次郎

本郷松川町一番地乙三百号

江口俊二郎

須田民次郎方

錦町十二番番地

錦亭館

中山恵

芝区愛宕下町四丁目重一番地

有斐學校

小石川上富坂町十五番地

和田悌四郎

中区早稲田専門學校

桂五十郎

[ 9 1 頁 ]

霜鳥二郎

本郷区四丁目廿九番地本間方

熊倉義廣

山形縣山形市七日市

南又兵衛

日本橋区小傳馬町

早川忠治

駿河臺袋町十番地

小林マス方

平松遮那一郎

笹川元治

新潟区西大畑通式番町四番地

田村正八

籾田作楽

日本橋区本銀町十番地

樋口屋錦藏

関利八

渡辺幸平

南蒲原三条二之町

鶴巻鶴一

下谷区谷中

大橋虎雄

三浦坂上領玄寺方

麹町区飯田町二丁目

四十一番地

山崎半造

吉田富藏方

芝区慶応義塾幼稚舎

和田義郎方

早川平治

本郷松川町壱番地乙

二百四十五号

大内すみ方

阿部七次郎

田中堅公

本郷新花町八十九番地

芦田金平

日本橋区三代町壱番

|       |             |         |                |
|-------|-------------|---------|----------------|
|       | 地           | 北越青年俱樂部 | 字南山七百九十九番地     |
|       | ??社内        |         |                |
| 江口俊二郎 | 神田錦町壱丁目十二番地 | 鈴木健造    | 西蒲原郡粟生津村       |
|       | 小山秦野方       | 治田虎次郎   | 芝区愛宕下町□四丁目南一番地 |
| 高橋懿介  | 東神保町十七番地    |         | 山田成雄方          |
|       | 渡辺せい方       | 五十嵐喜一郎  | 三島郡寺泊町         |
| 田中清吉  |             | 山崎丑太郎   | 西蒲原郡高野宮村       |
| 成田保太郎 | 西方町十番ほ十五号   | 鈴木有本    | 西蒲原郡粟生津村       |
| 田中久作  |             | 熊谷勇太郎   | 八王子村改名小池村      |

[ 9 2 頁 ]

明治廿三年一月一日改正

|       |                    |
|-------|--------------------|
| 吉川新八  | 石川縣金沢市袋町第十三番地 高野方  |
| 山田熊治  | 越後西蒲原郡地藏堂町         |
| 成田保太郎 | 本郷東片町百廿五番地         |
| 熊倉操   | 帝国大学寄宿舎            |
| 木村次郎  | 神田末廣町十番地           |
|       | 木村確方               |
| 小林魁郎  | 本郷真砂町第卅六番地 小林雄次郎方  |
| 山崎元脩  | 真砂町第廿四番地           |
| 渡辺篤太郎 | 芝三田                |
|       | 慶応義塾幼稚舎            |
|       | 和田義郎方              |
| 小林時之介 | 錦町三丁目九番地           |
|       | 石塚ツマ方              |
| 佐藤良三郎 | 神田宮本町九番地           |
|       | 齊藤ウタ方              |
| 田巻官三郎 |                    |
| 早川平治  | 本郷元町二丁目六十六番地 寺嶋千尋方 |
| 鮮良林平  | 三嶋郡片貝高等小学校         |
| 山際敬雄  | 新潟寺浦式番町            |
|       | 廣田屋                |
| 伊藤順三  | 神田区三崎町二丁目四番地 吉野方   |
| 諸橋加太次 | 新潟古町通式番丁           |
|       | 小泉方                |